

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

**鴻池運輸株式会社**（証券コード: 9025）

## 【見直し変更】

長期発行体格付  
格付の見直し A-  
安定的 → ポジティブ

## 【据置】

債券格付 A-  
国内CP格付 J-1

## ■ 格付事由

- 業務請負の大手であり、複合ソリューション事業が収益の柱。鉄鋼・食品関連を中心とした工場構内における生産工程間の貨物運搬・半成品の加工や構内外への搬出入、空港での手荷物搬送や機内清掃、病院内物流や滅菌代行など多岐にわたる請負業務を手掛ける。この他、国内物流事業および国際物流事業も展開する。
- 食品関連などが安定した収益を計上している。空港発着便数の回復に伴う空港関連の収支改善等もあり、連結業績は上向いている。国際物流の動向および鉄鋼関連の主要顧客による中期的な国内生産体制の再編の影響など留意すべき点はあるものの、収益源の多角化が進んでおり、キャッシュフローの安定性は高まっている。着実に自己資本の蓄積も進んでいる。積極投資が予想されるものの、高まっているキャッシュフロー創出力を背景に今後も現状程度の財務構成を維持できる可能性が高い。以上から格付を据え置くものの、見直しをポジティブに変更した。
- 24/3期営業利益は143億円（前期比8.0%増）と公表されており、23/3期に続いて最高益更新が計画されている。コロナ禍で混乱したグローバルサプライチェーンの正常化に伴う国際物流の収支悪化が予想されるものの、空港関連の業績回復などにより利益拡大が進む見込みである。引き続き食品関連の業績下支えなどにより、25/3期以降も堅調な業績推移が予想される。26/3期以降は鉄鋼関連の主要顧客による国内生産体制の再編の影響が顕在化する見込みだが、現状では他事業の伸長により損益へのマイナス影響を吸収できる可能性が高い。
- 24/3期第2四半期末の自己資本比率は46.9%（23/3期末同45.6%）。現行中期経営計画では3か年累計営業キャッシュフローの範囲内で投資と株主還元を行うものとしており、引き続き良好な財務構成を維持できる見込みである。M&Aを含む成長投資などが計画されているが、引き続き財務規律を遵守した投資判断を行う方針が示されている。

（担当）上村 暁生・加藤 直樹

## ■ 格付対象

発行体：鴻池運輸株式会社

## 【見直し変更】

対象	格付	見直し
長期発行体格付	A-	ポジティブ

## 【据置】

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第3回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2020年3月12日	2025年3月12日	0.200%	A-
第4回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2020年3月12日	2030年3月12日	0.360%	A-
第5回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	50億円	2020年7月2日	2025年6月30日	0.270%	A-

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第6回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2020年7月2日	2030年6月28日	0.520%	A-
第7回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2021年3月11日	2027年3月11日	0.290%	A-
第8回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2021年3月11日	2031年3月11日	0.510%	A-

対象	発行限度額	格付
コマーシャルペーパー	150億円	J-1

## 格付提供方針等に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2023年11月27日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：窪田 幹也  
主任格付アナリスト：上村 暁生
3. 評価の前提・等級基準：  
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014年1月6日)として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：  
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」(2014年11月7日)、「陸運」(2020年5月29日)として掲載している。
5. 格付関係者：  
(発行体・債務者等) 鴻池運輸株式会社
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：  
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。  
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。  
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：  
  - ・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
  - ・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：  
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. 格付関係者による関与：  
本件信用格付の付与にかかる手続には格付関係者が関与した。
10. JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

### ■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

### ■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

### ■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL: 03-3544-7013 FAX: 03-3544-7026

## 株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.  
信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル